



きとう俊郎 県政レポート

連絡先 〒491-0033 一宮市別明町 1-2-2-201 Tel 0586-24-8970

あいち小児保健医療総合センターを視察



救急体制の充実へ

公明党愛知県議団は2月12日、小児救急医療における課題を探るため、大府市にある「あいち小児保健医療総合センター」(谷風三郎センター長)を視察しました。同センターは保健部門と医療部門が併設されており、子どもの疾病予防から、医療、リハビリに至るまで一貫したケアを行うことができます。県議団では、小島文幸議員が2001年9月議会の一般質問で同センターの診療内容の充実を要請するなど、取り組みを後押ししてきました。現地では、谷風センター長から小児救急医療の現状について説明を受けた後、活発に意見交換を行いました。センター長からは、1歳から4歳の幼児の死因の多くが交通事故など不慮の事故であることを述べた上で、重症で放置すると致命的な状態に対処する3次救急体制が全国的に整っておらず、小児集中治療室(PICU)の整備と小児救急専門医の育成が課題であると報告がありました。

現地視察・調査報告

福岡市中部水処理センター 視察報告

福岡市中部水処理センターにおける発電装置を視察しました。バイオマス発電設備「メタックス'09」は下水汚泥を処理する課程で発生する消化ガス(バイオマスエネルギー)を燃料とし、同時に熱を回収するコージェネレーションシステムです。福岡市では平成21年3月に稼働開始し西日本で最大規模の500kwの出力を誇り、一般家庭の約940戸分の一年間の使用量に相当するそうです。以前は下水汚泥の処理過程で出ていた消化ガスの27%を未利用のまま焼却処分していたそうです。



大牟田リサイクル発電所 視察報告

大牟田リサイクル発電株式会社を視察しました。この発電所は、大牟田エコタウンの一角に位置し、ごみ焼却によるダイオキシン類対策と余熱発電(サーマルリサイクル)を目的として、RDF(ごみ固形化燃料)の焼却施設と発電施設を設けています。RDFによる発電は、小規模市町村等において製造されたRDFを広域的に収集することにより、単独の市町村では対応が難しかった高温で安定的な連続燃焼が行えます。さらに、最新の環境対策設備を整え、ダイオキシン類等に対して万全の対策を図っています。

